

有限会社昇栄

福島県いわき市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

何事にも誠実、正直に対峙し挑戦を続ける ことで社会に貢献する企業

- 放射能検査体制と地域内6次産業化の取組により県産食肉の販路拡大
- 生産者と大手精肉卸事業者、大型小売店と連携し消費者ニーズに対応した商品企画製造
- 震災時も全従業員の雇用継続、震災後は新卒高校生を13名雇用

企業基本情報

所在地	福島県いわき市中部工業団地1
電話/FAX	0246-38-9353/0246-38-9355
URL	—
代表者	代表取締役 猪狩 陽一
設立	2002年
資本金	500万円
従業員数	16人



会社概要

2011年3月に東日本大震災、原子力災害に被災したが、2012年5月には福島県いわき市に放射能検査体制を整備した新工場を復旧、福島県浜通り地域や茨城県北部地域の大型小売店向けにトレー入り精肉を製造している。また、地域の生産、製造、流通事業者と連携した地域内6次産業化により福島県産食肉の販路拡大を行い、震災後、地域に新たな雇用を創出している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 県内外での福島県産食肉の販路拡大の取組

震災以前から飼養農家など生産者への経営助言により、福島県産食肉の販路拡大支援を行ってきた。震災後は、社内に放射能検査体制をいち早く整備し、安全啓蒙活動により消費回復を支援している。

また、福島県産食肉の復興のため生産者、大手精肉卸事業者、大型小売店の間を取り持ち、地域内で生産から製造、販売まで一気通貫した地域内6次産業化の仕組みを作り、県内外で県産食肉の販路拡大にも取り組んでいる。



放射能検査機

▶▶▶ 生産者と大手精肉卸事業者、大型小売店と連携し商品企画製造

慢性的な人材不足や市場縮小傾向にある地方において、人材確保の軽減や投資費用の削減など多店舗展開する大型小売店の経営課題に対応し、トレー入り精肉製造のアウトソーシング受託事業を展開している。さらに、地域の生産者、大手精肉卸事業者、大型小売店と地域内で連携することで、地域で生産から加工、流通までを最適化しながら、消費者ニーズに対応した商品を企画、製造、販売できる点も強みである。



企画商品、福島豚ハム

▶▶▶ 震災時も全従業員の雇用継続、震災後は高校生を13名雇用

震災時も全従業員の雇用を継続、被災した代表自ら奔走し従業員の住まいを確保することで、震災1年後に早期の事業再開を果たした。

また、事業再開2年後には財務内容も健全化、活気ある組織風土づくりや組織の新陳代謝を高めるため、“新卒高校生”の採用に力を入れている。2013年から2017年までの5年間で福島県浜通り地域の高等学校から合計13名の新規高卒者を採用し、新たな地域雇用を創出している。



新たな地域雇用を創出